

自分だけのアンモナイトをつくろう



恐竜がいた頃、世界中の海で生息していたアンモナイト。その化石はパワーストーンとしても人気があります。その化石の型をつかって、自分だけのオリジナルアンモナイトを作ります。絵具やマニキュアで楽しく“デコ”りましょう！

8/16 (水) 午前10時～11時30分

講師：二上 政夫氏
(川村学園女子大学教育学部 社会教育学科 教授)
会場：5階 研修室1
対象：小学生
定員：30人 (事前申込先着順)
受講料：500円
350円 (障割)
材料費：800円
持ち物：エプロン、割箸1膳

リバーサイドコンサート
真夏の特別公演ビッグバンド



プラスが中心のビッグバンドによるコンサートです。アニメやCM、TVドラマ、映画の主題歌を中心に演奏します。スタンダードジャズの演奏も楽しめます。

8/13 (日) 午後2時～3時30分

出演：Blue Art Jazz Orchestra
(日本大学芸術学部音楽専攻)
会場：4階 講堂
対象：16歳以上の方
定員：160人 (事前申込先着順)
受講料：1,000円 (一律)

大人の仕事体験
きみも新聞記者になってみよう



芸能人やスポーツ選手の記者会見、テレビでよく見るシーンですね。そこでカメラやレコーダーを手に、取材しているのが新聞記者です。新聞社で実際に仕事をしている様子を見たり、架空の街での取材体験を試してみませんか！

8/8 (火) 午前10時30分～
午後0時10分

(現地集合、現地解散)
講師：よみうりショップスタッフ
(読売新聞東京本社)
会場：読売新聞東京本社
(千代田区大手町1-7-1)
対象：小学4～6年生と保護者
定員：20組 (事前申込先着順)
受講料：無料
保険料：1人10円 (現地で徴収)

「座禅 お茶 殺陣(タテ)観賞」
日本の伝統文化を体験しよう



海外でも注目される“座禅”。集中力と心の落ち着きが身に付き、心身の成長に繋がります。他にも、お茶体験、剣道の演武見学と盛り沢山！この夏の思い出づくりも兼ねて、日本の伝統文化を体験してみよう！

8/9 (水) 午後0時30分～午後5時

(北千住駅マルイ前集合
北千住駅解散)
指導：大谷 竜穂氏
(宗教法人 人間禅 中央部長)
住所：千葉県市川市国府台6-1-16
対象：小学生
定員：20人 (事前申込先着順)
受講料：1,830円 (小学生・一律)

書ける！身につく！
読書感想文教室



楽しい夏休み、そして頭の痛い読書感想文の宿題！本の選び方や書き方のポイント、添削までを、3回の教室で行います。夏休みに国語力をつけながら、読書感想文を制覇しよう！

8/3・10・17 いずれも木曜日 3日制
午前10時～11時30分

講師：桐生 玲子氏 (株立命)
会場：5階 研修室4ほか
対象：小学1～4年生
(1・2年生は保護者同伴)
定員：15人 (事前申込先着順)
受講料：2,400円 (一律)

大人の仕事を学ぶ
「君の知らない上野動物園」教室



上野動物園の獣医師が動物園の役割や仕事、動物とのエピソードなどを紹介します。動物の保護、育成する大切さを子どもたちに学んでいただけます。

8/7 (月) 午後1時30分～3時

講師：佐藤 恵氏
(恩賜上野動物園教育普及課普及係)
会場：4階 講堂
対象：小学生3年生～6年生
定員：50人 (事前申込先着順)
受講料：無料

日韓ヒューマン交流会・韓国語特別課外教室



伝統芸能ノンアツを練習する子どもたち



緑芽が日増しにその色を増していく中、当センターで活動している韓国語教室・韓国語サークルの皆さんの日頃の成果を試す場として、新宿の東京韓国学校での特別課外教室を実施しました。当日は、在日韓国人の方が韓国語と韓国文化を学ぶ土曜学校の日、未就学児から成人まで様々な人が学びに来ていて、大変賑わっていました。

小学生クラスの授業参観では、韓国太鼓ジャンゴを演奏する音楽の授業と、韓国語朗読の授業の二つを参観しました。緊張気味な様子の参加者も、児童たちの無邪気な様にフリータイムの時間に韓国語で話しかけ、大盛り上がりでした。帽子の先の長いリボンを通して舞う、伝統芸能の農楽(ノンアツ)は大変躍動感がありました。「頭が重そう…」と心配しましたが、子ども達が「遠心力を用いて、身体全体で踊っているんだよ」と韓国語で教えてくれました。



フリータイムに子どもたちと韓国語で会話をしました



韓国太鼓ジャンゴの練習風景

茶話会では、校長先生の歴史講話や、児童の保護者の民族教育に対する思いを聞かせていただきました。日本と韓国の違いや共通点が学べ、韓国を身近に感じられました。アンケートでも「皆と韓国に行けたら」「韓国のことを少し分かったことが嬉しい」などのお声をいただきました。学習支援や、参加者同士の絆づくり、国際理解につながる特別課外教室でした。

私の韓国語が韓国の子どもたちに通じた。ますます韓国語が好きになりました。